

令和8年度事業計画

(基本方針)

コロナ禍以降、全国の観光需要は徐々に回復している一方で、本県ではコロナ前と比較して、延宿泊客数は国内91%、インバウンド80%、全体で90%であり、物価高騰や人手不足も深刻化する中、県内の観光関連産業を取り巻く環境は厳しい状況が続いている。

令和7年度は、観光関連事業者や市町村観光協会等との連携強化に努めながら、周遊促進、データ収集を目的としたスタンプラリーの実施、韓国、台湾からの直行便や隣県空港を活用したインバウンドの取り込み、国スポ・障スポ施設を活用した合宿誘致、侍ジャパン等の大型スポーツイベントの誘致・受入に取り組んだところである。

このような中、令和8年度においては、以下について強化・新規に取り組むこととする。

(1) 観光振興

- ・宮崎大学や市町村と連携した人流データ分析、データ情報共有によるマーケティング
- ・観光庁が改正した「DMO登録制度ガイドライン」により、各DMOに策定が義務付けられた「観光地経営戦略」の策定（令和9年7月末の更新時まで）に向けた準備
- ・HPの充実、デジタルマップの促進、宮崎県内の大学生と連携した情報発信の強化
- ・国際定期便、隣県空港を活用した誘客の促進

(2) スポーツランド推進

- ・新たな国スポ・障スポ施設を活用した大会・合宿誘致
- ・海外誘致部と連携した、韓国、台湾のエージェントへのスポーツ合宿誘致セールスの強化
- ・Jリーグ新シーズン移行に対応した合宿受入

(3) MICE推進

- ・アンバサダーとの連携による誘致・受入強化

(基本理念)

関係機関との連携強化

市町村観光協会や観光関連事業者等と緊密に意見交換等を行い、求められる対策等について認識の共有化と相互協力を図り、事業展開に繋げる。

令和8年度事業体系

観光振興 366,250 千円		
1	魅力あふれる観光地域づくり事業 (1) 専門人材による観光地域づくり支援 (2) 観光みやざき創生塾 (3) 観光ガイド研修 (4) 観光地域づくり補助	32,203 千円
2	「日本のひなた宮崎県」情報発信・誘致強化事業 (1) 本県知名度向上のためのプロモーションの展開等 (2) 旅行会社等と連携した観光誘客事業 (3) 高速道路を活用した観光誘客推進 (4) HPやSNS等を活用した情報発信事業	25,288 千円
3	宮崎の強みを生かした観光誘客事業 (1) 食を生かした観光誘客 (2) 5つのS（食、スポーツ、神話、自然、森林）を生かした観光プロモーション	43,888 千円
4	教育旅行誘致・定着促進事業 (1) 新たな誘致先の拡充 (2) 学校や旅行会社を対象とした招請ツアー (3) 団体旅行商品の造成支援	23,175 千円
5	ユニバーサルツーリズム推進事業 (1) 宮崎ユニバーサルツーリズムセンター運営 (2) ユニバーサルツーリズム受入促進	10,334 千円
6	みやざき観光カレンダー作成事業	5,000 千円
7	インバウンド誘客促進事業 (1) 韓国・台湾・香港対策 (2) 中国・アセアン・欧米豪地域対策 (3) クルーズ対策 (4) 受入環境整備	226,362 千円

スポーツランド推進 181,278 千円		
1	プロ野球キャンプ環境充実強化事業	14,500 千円
2	スポーツランドみやざきキャンプ受入等推進事業 (1) プロ野球、各競技団体代表等への受入支援 (2) キャンプガイドマップ作成等	17,022 千円
3	大規模キャンプ・スポーツ大会等開催支援事業	20,800 千円
4	スポーツキャンプ総合窓口等設置事業 (1) 総合窓口等設置 (2) 審判員の手配等	14,806 千円
5	Jリーグ新シーズン移行対策事業	3,500 千円
6	スポーツランドみやざき誘客対策事業	101,650 千円
7	宮崎の強みを生かした誘客事業	9,000 千円

M I C E 推進 56,228 千円		
1	M I C E 推進体制強化事業 (1) 体制整備 (2) 会議・研修 (3) 歓迎支援	2,935 千円
2	M I C E 誘致強化事業 (1) キーパーソン招請・事前視察支援 (2) M I C E 個別誘致セールス（国内・海外） (3) 見本市・商談会展 (4) M I C E 誘致懇談会	7,352 千円
3	M I C E 開催支援事業	45,941 千円

運営費等 148,797 千円	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人件費 ・ 理事会・評議員会の開催 ・ 「会員の集い」開催 ・ 観光功労者表彰 ・ ニュースレターの発行 ・ 予備費 	148,797 千円
--------------------	---	------------

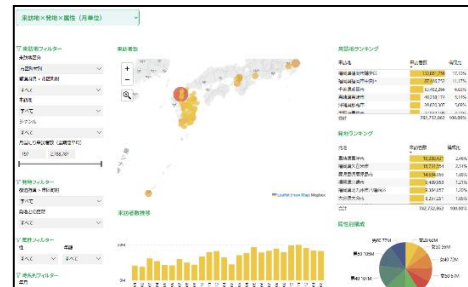
総予算 752,553 千円

I 観光振興【 366,250 千円 】

1 魅力あふれる観光地域づくり事業 (32,203 千円)

地域を牽引する観光人材を育成し、県、市町村、観光関係団体、観光事業者等と一体となった地域づくりに取り組む。

(1) 専門人材による観光地域づくり支援
観光関連団体や宮崎大学等と連携したマーケティングに基づく観光資源の掘り起こしや磨き上げを支援



人流データの活用

(2) 観光みやざき創生塾
地域の中核となる観光人材の育成を目的とした研修プログラムの実施



観光みやざき創生塾

(3) 観光ガイド研修
県内観光ガイド団体等を対象とした研修の実施

(4) 観光地域づくり補助
県内周遊促進を目的とした観光地域づくりの支援

2 「日本のひなた宮崎県」情報発信・誘致強化事業 (25,288 千円)

国内旅行者のニーズを踏まえた本県の観光素材等の情報を発信するとともに、国内最大級旅行博への出展および旅行会社招請 FAM ツアー等により、本県の認知度向上と誘致強化を図る。

(1) 本県知名度向上のためのプロモーションの展開等

- ・ ツーリズムEXPOジャパン（東京）への出展
- ・ 旅行会社等との商談会への参加（東京、大阪、福岡）



ツーリズムEXPOジャパン

(2) 旅行会社等と連携した観光誘客事業

- 大手旅行会社等とのタイアップによる商品造成（招請 FAM ツアー）等
県内の観光地やホテル施設等の視察及び県内観光事業者と旅行造成担当者との商談会等を実施



(3) 高速道路を活用した観光誘客推進

- NEXCO西日本のキャンペーンへの参加による県内ドライブスポットのPR（お城、神社等）



24府県・102スポットで実施



(4) HPやSNS等を活用した情報発信

- 宮崎県観光情報サイト（日本語・多言語）での情報発信の充実・強化
- JNTO（日本政府観光局）等の外部 Web サイト等を活用した情報発信
- 宮崎大学の学生等と連携した Instagram での情報発信の充実・強化



<アクセス実績>

R6.4~R7.1
4,439,276 件
R7.4~R8.1
5,418,544 件
対前年 114%



宮崎大学学生と連携した Instagram による情報発信

3 宮崎の強みを生かした観光誘客事業

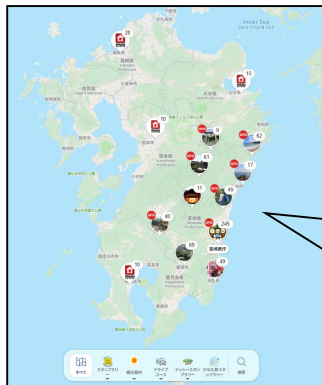
(43,888 千円)

本県観光の再生と更なる活性化を推進するため、本県の強みである5つのS（食、スポーツ、神話、自然、森林）を生かした誘客等の対策を実施する。

(1) 食を生かした誘客

「食」をテーマとした誘客・周遊キャンペーンの実施

- ・デジタルマップのスポット登録の促進、クーポン登録
- ・デジタルマップを活用したデジタルスタンプラリーの実施
- ・国スポ・障スポを見据えた競技場等の登録、詳細マップ作成



デジタルマップへ競技場等の詳細マップ追加イメージ

(2) 5つのS（食、スポーツ、神話、自然、森林）を生かした観光プロモーション

①国内交通機関とタイアップした誘客プロモーションの実施



航空会社機内誌への本県特集記事の掲載



航空会社、店舗との連携

②民間事業者との連携によるプロモーションの実施

主に九州管内を対象に、地域メディアと連携した観光プロモーションを実施



雑誌「九州 LOVE Walker」で小林市出身の吉野北人氏 (THE PAMPAGE) を起用して観光案内

4 教育旅行誘致・定着促進事業

(23,175 千円)

行政機関・団体、民間事業者等で構成する宮崎県教育旅行誘致推進協議会において、教育現場のニーズを捉えた誘客プロモーションを展開し、国内外からの教育旅行の誘客を図る。

(1) 新たな誘致先の拡充

- ・九州観光機構等と連携した関東や関西等を対象としたセールス・キャラバン
- ・JNTO等と連携した台湾等を対象とした現地セールス



(2) 学校や旅行会社を対象とした招請ツアー

- ・南九州3県で連携した関東や関西等からの関係者招請
- ・JNTO等と連携した台湾等からの関係者招請



(3) 団体旅行商品の造成支援

本県で教育旅行を実施する際、貸切バスの費用及び企画開発費の一部助成



5 ユニバーサルツーリズム推進事業 (10,334 千円)

高齢や障がい等の有無にかかわらず、すべての人が気兼ねなく旅行を楽しむことができるユニバーサルツーリズムを推進するため、旅行者や観光事業者等からの照会、相談に対応するほか、ベビーカー・車いすの貸出、旅行者向けの情報発信、観光事業者向けの研修会等を実施する。

(1) 宮崎ユニバーサルツーリズムセンター運営

- ・ユニバーサルツーリズム環境調査
- ・ユニバーサルツーリズムに関する相談対応

(2) ユニバーサルツーリズム受入促進

- ・宿泊施設や観光に関するユニバーサル情報の提供
- ・宮崎空港でのベビーカー・車いす等の貸出
- ・観光事業者に対する研修会の実施



ユニバーサルツーリズム促進セミナー

6 みやざき観光カレンダー作成事業 (5,000 千円)

県内各地の魅力的な観光スポット、伝統文化等を伝える観光カレンダーを作成・販売し、観光PRを推進する。

2026年版カレンダー採用写真



古代の勇ましい舞 (11月)



So Blue~白の頂へ~ (2月)



蘇る伝統 (7月)

7 インバウンド誘客促進事業

(226,362 千円)

2025 年の訪日外国人旅行者数は、約 4,268 万人に達し、年間過去最高を更新したが、本県においては、その流れを十分に取り込めていない状況にある。

定期便が就航する韓国・台湾を中心に訪日旅行の高リピーター市場からの誘客を促進する。

(1) 韓国・台湾・香港対策

- ・国際定期便を活用した誘客プロモーション
- ・現地旅行会社等に対する宮崎空港を活用した誘客への支援
- ・現地旅行会社等に対する県外空港を活用した誘客への支援
- ・県海外事務所、駐在員、代理店等と連携した現地でのセールス、旅行会社等の招請、旅行博出展、等



韓国トラベルフェア



台北国際旅行博



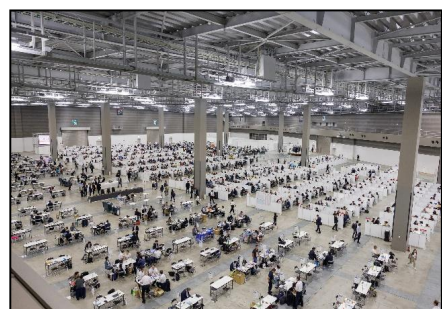
香港：隣県空港を活用したツアーの造成支援

国際定期便利用者（韓国・台湾）を対象としたクーポンキャンペーン

(2) 中国・アセアン・欧米豪地域対策

- ・シンガポール、タイ等をターゲットとしたプロモーション・セールス、イベントへの出展
- ・航空会社等と連携したプロモーション
- ・Visit Japan Travel Mart（東京）への出展

Visit Japan Travel Mart（商談会）





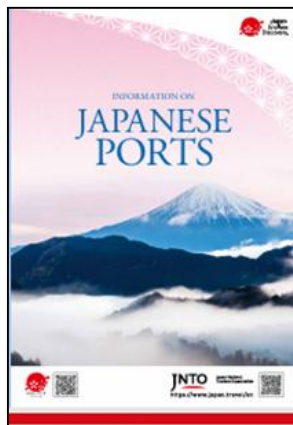
シンガポール 夏季旅行博（NATAS）にて現地旅行会社と連携したプロモーション



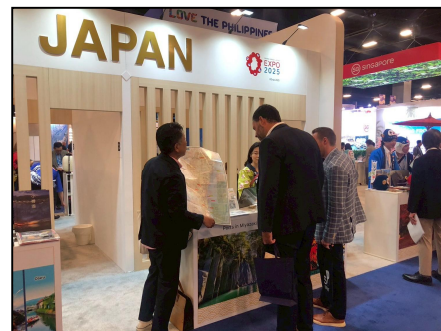
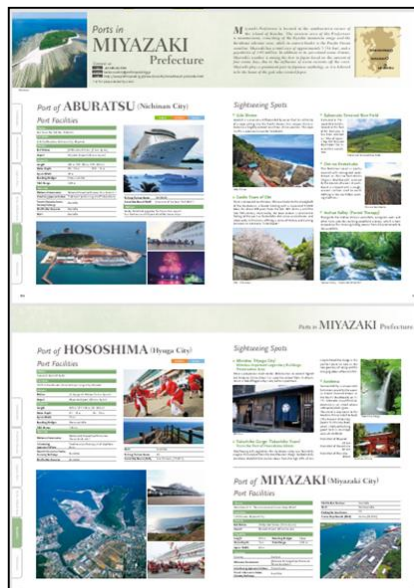
タイ Visit Japan FIT FAIR

(3) クルーズ対策

- ・専門誌への情報掲載、船社キーパーソン招請、プロモーション・セールス、クルーズ見本市への出展、経済効果調査、受入対策強化



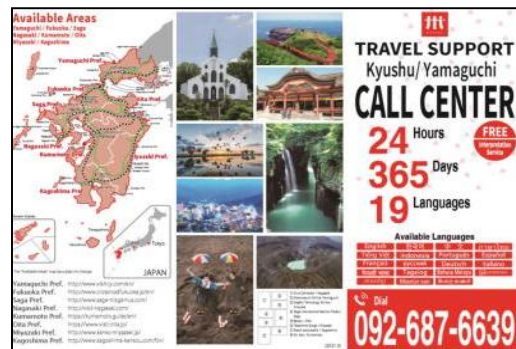
JNTOパンフレット



シートレード・クルーズ・グローバル（米国・マイアミ）

(4) 受入環境整備

- ・宮崎県多言語コールセンターの運営
- ・インバウンドに関する研修会の実施



多言語コールセンター広報用チラシ

Ⅱ スポーツランド推進【181,278千円】

1 プロ野球キャンプ環境充実強化事業 (14,500千円)

本県におけるプロ野球のキャンプの継続や増加を図るため、若手選手育成を目的とした教育リーグの開催支援やファンとの交流イベントを実施する。

- ・フェニックスリーグの開催支援（10月）
- ・プロ野球選手とファンとのキャッチボールイベントの開催（フェニックスリーグ）



フェニックスリーグ



キャッチボールイベント

2 スポーツランドみやざきキャンプ受入等推進事業 (17,022千円)

スポーツキャンプ・合宿等のさらなる誘致を図るため、空港等での歓迎事業や県産品贈呈、キャンプガイドマップの作成等を行う。

(1) プロ団体、各競技団体代表等への受入支援

- ・ボールパークG（巨人軍物産展）、ジャビットバス運行などプロ野球一軍6球団の盛り上げ支援
- ・プロ野球、Jリーグ、ラグビーリーグワン等への県産品贈呈等

(2) キャンプガイドマップ作成等

- ・スポーツ合宿誘致セミナー
- ・キャンプガイドマップ等の作成
- ・エアポートボールパーク2027開催支援



県産品贈呈



スポーツ合宿誘致セミナー

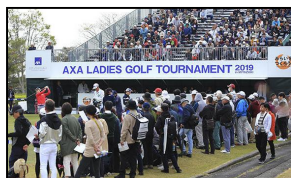


キャンプガイドマップ等

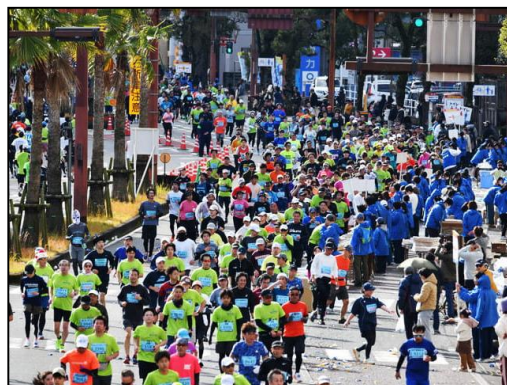
3 大規模キャンプ・スポーツ大会等開催支援事業 (20,800 千円)

大規模大会等の開催による誘客促進を図るため、現在実施されている大会等への継続的な支援を行う。

- ・三大ゴルフトーナメント
ダンロップフェニックス（11月）、リコーカップ（11月）、
アクサレディス（3月）
- ・第40回青島太平洋マラソン（12月）
- ・MIYAZAKI SURFING GAMES（9月予定）



三大ゴルフトーナメント



青島太平洋マラソン

4 スポーツキャンプ総合窓口等設置事業 (14,806 千円)

県内全域のスポーツ環境の充実（「全県化」、「通年化」、「多種目化」）を図るため「ひなたスポーツ観光ステーション（ワンストップ窓口）」において、県・市町村のネットワーク強化を図るとともに競技ごとの誘致部会及び宮崎県ラグビーリーグワン協力会においてキャンプ・大会等の誘致に取り組む。

(1) 総合窓口等設置

- ・ワンストップ窓口の設置・運営
- ・競技ごとの誘致部会及び宮崎県ラグビーリーグワン協力会を通じた大規模大会、合宿の誘致

(2) 審判員の手配等

- ・トレーニングマッチに係る審判員の手配や地元審判員育成のための講習会への支援等によるキャンプ地としての受入体制の強化



誘致部会や宮崎県ラグビーリーグワン協力会の活動（合宿誘致、リーグワン公式戦の開催）

5 Jリーグ新シーズン移行対策事業 (3,500千円)

Jリーグ秋春制へのシーズン移行に伴い、令和8年からスタートする夏季キャンプに各Jリーグクラブを誘致し、継続したキャンプ受入れに繋げるための支援を行う。

- Jリーグクラブへの受入支援（県産品贈呈等）



Jリーグクラブへ贈呈



サッカーイベント等開催支援

6 スポーツランドみやざき誘客対策事業 (101,650千円)

キャンプ・大会の「全県化」、「通年化」、「多種目化」を目指すため、大会やイベントの誘致を重点的に推進する。

本県で開催される大会やイベントに対し、補助金を交付するとともに国内外の競技団体等に対する合宿の誘致にも積極的に取り組む。

- 大会・イベント誘致事業
- アマチュアスポーツ合宿支援強化事業
- 二次交通等支援事業
- 県内補助一覧チラシの作成
- 韓国、台湾等のエージェントへの合宿誘致セールス



イベント・合宿等支援

7 宮崎の強みを生かした誘客事業 (9,000千円)

本県の強みである神話や自然、食、スポーツ等の観光資源を活用し、更なる観光需要の喚起および誘客促進を図る。

特に、スポーツを生かした誘客としてプロスポーツキャンプ会場からの周遊企画を行う。

- 何でも極上！NANGOKU みやざき デジタルスタンプラリー
みやざき・フェニックスリーグコース
プロ野球春季キャンプコース
侍ジャパンコース
- 6球団連携事業メディアセールス



スポーツを生かした誘客

Ⅲ MICE推進【 56,228 千円】

1 MICE推進体制強化事業 (2,935 千円)

MICEを推進するための会議・研修や情報収集を行うとともに、本県でMICEを開催される団体への歓迎支援を行う。

(1) 体制整備

宮崎県 MICE アンバサダー会議の実施

(2) 会議・研修

MICE情報の収集や職員のスキル向上のための日本政府観光局（JNTO）主催研修等への参加及び九州・沖縄地区MICE推進団体連絡会など、MICE関連団体との情報交換

(3) 歓迎支援

歓迎看板設置や郷土芸能披露の支援の他、バナー・横断幕の貸出、観光パンフレット・飲食店ガイドマップ等の提供



2 MICE誘致強化事業 (7,352 千円)

本県へのMICE誘致を強化するための各種セールスの実施や商談会等への参加及び誘致懇談会を実施する。

(1) キーパーソン招請・事前視察支援

MICE開催地決定に影響力のあるキーパーソンやインセンティブ旅行等を扱う国内外の旅行業者の招請及び補助金交付による事前視察の支援。宮崎のMICE施設や観光地等の現地視察体験を通じた、開催地決定への誘導

(2) MICE個別誘致セールス（国内・海外）

大都市圏の学術会議事務局や大学、企業、さらに県内の大学や各種団体等への定期訪問を強化。また、韓国・台湾セールスの継続

(3) 見本市・商談会出展

国内外で開催されるMICE商談会等に参加し、開催補助金等の支援内容を説明。国内・海外MICE、訪日インセンティブ旅行の誘致促進



2025JNTO 台湾商談会

(4) MICE誘致懇談会

学術会議等の主催者や大学・企業関係者、旅行取り扱いエージェントなどを対象に懇談会を開催。開催補助金制度の説明や県内MICE施設の紹介及び情報交換会の開催等によるMICE誘致の推進

3 MICE開催支援事業

(45,941 千円)

MICE開催補助金交付要綱の基準を満たす九州規模以上の大会等に対して補助金を交付する。



Asia Pacific Agricultural Policy Forum



某企業全国ディレクター会議

<令和8年度開催予定の主なMICE>

- 第85回九州山口薬学大会
7月18日～20日 延べ参加者 3,338人 県外延べ宿泊者 1,800人泊
- 日本畜産学会第134回大会
9月15日～18日 延べ参加者 2,820人 県外延べ宿泊者 1,980人泊
- 某生命保険会社研修会
10月20日～23日 延べ参加者 2,700人 県外延べ宿泊者 2,700人泊
- 第88回日本臨床外科学会学術集会
11月26日～28日 延べ参加者 5,100人 県外延べ宿泊者 5,000人泊
- 第41回日本臨床リウマチ学会
12月5日～6日 延べ参加者 2,000人 県外延べ宿泊者 1,700人泊
- 一般社団法人日本LD学会 第35回大会
12月19日～20日 延べ参加者 3,210人 県外延べ宿泊者 2,050人泊

IV 協会運営活動

1 関係機関との連携強化

市町村観光協会や観光関連事業者等と緊密に意見交換等を行い、求められる対策等について認識の共有化と相互協力を図り、事業展開に繋げる。

- 市町村観光協会等会長会議
- 観光関係事業者会議
- テーマ別担当者会議
 - 観光地域づくり関係担当者会議
 - スポーツ関係担当者会議
 - MICE関係担当者会議



令和7年度 市町村観光協会等会長会議



観光庁長官講演会

2 「観光地経営戦略」の策定

観光庁が改正した「DMO登録制度ガイドライン」に基づき、各DMOに策定が義務付けられた「観光地経営戦略」の策定に向けた準備を行う。

3 会員の集い

賛助会員に対し、当協会の活動への理解を深めてもらうとともに、会員相互の情報交換を促進するため、「会員の集い」を開催する。



令和7年度 会員の集い

4 ニュースレター

当協会の日頃の活動を報告する「ニュースレター」を作成し、賛助会員、協会役員等に対し送付する。



ニュースレター（令和7年12月号）

5 観光功労者表彰

賛助会員等からの推薦に基づき、観光関連業務に顕著な功績がある方々に対し表彰を行う。

また、日本観光振興協会九州支部に対し観光功労者の推薦を行う。



宮崎県観光協会観光功労者表彰



日本観光振興協会九州支部観光功労者表彰

6 理事会・評議員会

6月の定時評議員会その他、必要がある場合に理事会、評議員会を開催する。

【主な支援事業】

1 みやざき宿泊旅行需要喚起事業

(1) 事業の目的、趣旨等

教育旅行等の団体旅行商品を造成する旅行会社に対し助成を行うことにより、地域観光産業の活性化を図る。

(2) 予算額

11,000 千円

(3) 対象者

団体旅行商品を造成する旅行会社

(4) 支援等の内容

①補助率 定額

②上限額 なし

③助成額 商品企画開発 県内宿泊 1人泊あたり 1,000円
貸切バス助成 1日1台あたり 30,000円

2 台湾から宮崎空港定期便を利用した宿泊助成事業

(1) 事業の目的、趣旨等

台湾から宮崎空港への定期便を利用した旅行商品を販売する旅行会社に対し助成を行うことにより、台湾からの県内宿泊者数の回復を図る。

(2) 予算額

89,680 千円

(3) 対象者

宮崎空港定期便を利用した旅行商品を販売する旅行会社

(4) 支援等の内容

①補助率 定額

②上限額 なし

③助成額 県内宿泊 1人泊あたり 3,000円

3 韓国から宮崎空港定期便を利用した宿泊助成事業

(1) 事業の目的、趣旨等

韓国から宮崎空港への定期便を利用した旅行商品を販売する旅行会社に対し助成を行うことにより、韓国からの県内宿泊者数の回復を図る。

(2) 予算額

6,000 千円

(3) 対象者

アジアナ航空が指定した旅行会社

(4) 支援等の内容

①補助率 定額

②上限額 なし

③助成額 県内宿泊 1人1泊 3,000円、2泊 5,000円、
3泊以上 7,000円

4 香港からの鹿児島チャーター便を利用した宿泊助成事業

(1) 事業の目的、趣旨等

香港からのチャーター便を利用した旅行商品を販売する旅行会社に対し助成を行うことにより、香港からの県内宿泊者数の回復を図る。

(2) 予算額

2,000 千円

(3) 対象者

チャーター便を利用した旅行商品を販売する旅行会社

(4) 支援等の内容

①補助率 定額

②上限額 なし

③助成額 県内宿泊 1人泊あたり 3,000 円

5 スポーツランドみやざき誘客対策事業（大会・イベント誘致事業）

(1) 事業の目的、趣旨等

本県で大会・イベントを行うアマチュアスポーツ団体等に対し、その経費の一部を支援することにより、大会・イベント等の「全県化」、「通年化」、「多種目化」を目指す。

(2) 予算額

40,000 千円

(3) 対象者

スポーツイベントを主催する団体

(4) 支援等の内容

①補助率 定額（10万円、20万円、30万円）

②上限額 30万円

③その他要件

県内のスポーツ施設等を利用及び宿泊施設を利用すること。

6 スポーツランドみやざき誘客対策事業

（アマチュアスポーツ合宿支援及び二次交通支援事業）

(1) 事業の目的、趣旨等

本県で合宿等を行うアマチュアスポーツ団体等に対し、その経費の一部を支援することにより、合宿等の「全県化」、「通年化」、「多種目化」を目指す。

(2) 予算額

50,000 千円

(3) 対象者

県内外のアマチュア選手を含むスポーツ団体

(4) 支援等の内容

①補助率 定額（1万円～15万円）

②上限額 15万円（宿泊補助：10万円、二次交通補助：5万円）

③その他要件

・合宿に参加した者の延べ宿泊者数が10人以上であること。

・県内のスポーツ施設を利用して合宿及び県内の宿泊施設に宿泊すること。

7 MICE開催支援事業

(1) 事業の目的、趣旨等

MICE 主催団体等に対し、その開催に要する経費の一部を補助することにより、宮崎県内への MICE 誘致の一層の促進を図る。

(2) 予算額

45,941 千円

(3) 対象者

宮崎県内で開催される MICE 主催団体等

(4) 支援等の内容

①補助率 対象経費（会場使用料等）の 1/2

②上限額 県外からの延べ宿泊人数に応じて 30 万円～600 万円

③交付額 ①と②のいずれか少ない額